

英国イングランドでもスーパーのプラスチックバックの有料化がスタート

かねてから英国政府より出ていた「御触れ」によって、10月5日からイングランドでのスーパーや大型店舗でのプラスチックバック(以下、バック)の有料化(5ペンス=10円/枚)がスタートします。(スコットランドとウェールズでは3年前から実施済み)

政府の環境食料農村地域省の調査によると、2014年までの過去5年間で見るとバックの消費量は増加傾向にあり、今では英国の家庭当たり40枚が家のどこかかかしこにあると推定されています。2014年の消費量はなんと85億枚で2013年より2億枚も増加していると報告されています。一般にバックは分別回収されリサイクルされる分もあるがそれでも大半は、ゴミとなり分解されるまでに気の遠くなるような時間がかかるが、結局は年間16,000トンの一般ゴミと共に埋め立て処分されているのが現状で、一部は海に流れだし海洋汚染の元凶となり生態系への影響も懸念されています。

再資源担当次官のローリ・スチュワート氏は、「我々として、スーパーや大型店から簡単に入手できるバックの使い捨てには罪悪感を覚える。この悪しき習慣を改めることは環境を守ることに繋がる」と述べています。

今回のバックの有料化は、英国の全人口の85%を占めるイングランドで行われるもので、3年前からスタートしたスコットランドではマイバックの使用がこの3年間で4倍となりウェールズでは79%もバックの消費が削減されました。

更に、スチュワート氏は「イングランドでのバックの有料化で英国全体としてはスーパーや大型店でのバックの消費量は80%、中小の小売店では50%の削減が期待される。また有料化による収入の一部、£730m(約1300億円)が向こう10年間に様々なチャリティやNPO法人の活動資金として活用されることは大変有意義なことである」と話しています。

ちなみに、英国のバックには再使用を促す目的で「このバックを再資源利用のため、何度も使用しましょう」と、「このバックは、窒息事故を防ぐため子供や赤ちゃんには近づけないでください」の二つのメッセージが入っており、更にバックの側面に直径5mmの穴が8個ほど開いています。これは子供が誤って被っての窒息防止が目的であります。今思えば、私の英国駐在時代の80年代初めにバックに穴を開けることと注意書きを入れることが法律で定められ、日本製の家電製品を包んでいたバックへの数ヶ所の穴を開けると注意書きを入れるように生産工場に連絡したことがありました。結局その法律が今でも適用されていると言うことです。



英国の代表的なスーパーのバック、黒丸が穴で裏側にも2個開いています。

更に、再使用の促進と子供の窒息防止のメッセージが入っています。

翻って、日本のバックの有料化はどうなっているのでしょうか。東京での有料化はまだの様です。有料化は、当然の流れですがお金を払うのには抵抗があるので私はこれを機会にマイバックを持参しての買い物になると思います。

ところで私が東京で行くAスーパーの無料のバックですが、もちろん穴も開いていないし何回でも使えそうな丈夫なバックです。こんな丈夫なバックを使い捨てにするのはいかにももったいない話です。現在生活は過剰梱包に過剰な種類の食品に囲まれ、これらの使い捨ての過剰梱包材はまさに環境汚染の元凶であります。過剰梱包を減らす算段はしたいものですね。(了)